

くすりと健康のはなし 薬包紙

第12回

一般社団法人岐阜県薬剤師会
理事 今尾 智恵



緑が鮮やかなとても気持ちのいい季節になりました。

5月5日は、端午の節句。この頃、核家族・少子化で空を泳ぐ大きな鯉のぼりをあまり見かけなくなりました。いつの時代もこどもがすこやかに育つことは、親の願いであり、今も昔も変わりません。ところが、けがをしたり病気に罹ったりしたとき、早く元気になるってほしいと願っているのに、なかなか薬をじょうずに飲んでくれないで困ったことはありませんか？

こどもが薬を嫌がらずに飲むには、年齢に合わせた工夫が必要です。

① 新生児(生後1ヶ月未満)

授乳後では、満腹で薬を嫌がることがあるので指示がなければ、授乳前でも可能です。シロップ剤は、スポイト・スプーン・哺乳瓶の乳首を使って飲ませてあげるとよいでしょう。

薬を飲ませた後は、すぐにお水を飲ませてあげてください。

② 幼児期(1〜6歳)

味覚が発達して味の好みが出てきます。水で飲むのが基本ですが、

こどもに薬を飲ませる工夫

何かに混ぜて飲むこともできます。(例えば、アイスクリームやココアパウダーなど)ただし、ヨーグルト・スポーツドリンク・酸味のあるジュースなどに混ぜると苦味が強くなる薬もありますので、詳細は、薬剤師にご相談ください。また、補助ゼリーに薬を包み込むようにして、飲むのもよいでしょう。

③ 学童期(7〜12歳)

年齢とともに散剤・シロップ剤の量が増えるので、錠剤が飲めると、薬の取り扱い・保存も簡単になります。薬の大きささくらのラムネ菓子で、練習しておくのもひとつの方法です。高学年になれば、薬に興味をもってもらい親の管理のもと積極的に治療に参加してもらいましょう。

いずれにしても、薬が飲めた後に思いっきりほめてあげましょう。次に気持ちよく飲めることが、回復につながり、自覚をもって飲むことが、生涯にわたって、自分の健康は、自分で守る」という、セルフメディケーションの意識づけにもなるのです。

全身のあらゆる痛みに対応する「ペインクリニック」をご存知ですか？

Q1 ペインクリニックって何ですか？

痛みの治療を専門に行うクリニックです。主に神経ブロック療法を用いて治療をします。これまでの医療では診療して病名を特定することを重視してきました。そのため、患者様が痛みを訴えても、診断結果が出るまでは痛みを放っておかれたり、症状が違っても安易に同じ鎮痛剤を処方されたりする...といったことがありました。ペインクリニックとは痛みの性質から病気の原因を探り、痛みを取り除く診療科なのです。

Q2 神経ブロック療法とは？

神経ブロックとは、痛みを感じている神経またはその周囲に薬を入れ、一時的だけではなく、長期間にわたり痛みを取り除く方法です。

Q3 対象になるのはどんな病気ですか？

基本的にはどのような痛みにも対応します。頭のてっぺんから足の先まで痛みに関することなら何でもご相談ください。

Q4 保険は適応されますか？

当院の診療は全て保険診療です。安心してご来院ください。

こんな症状の方は当院へどうぞ

- 腰・足の痛み**
腰部脊柱管狭窄症
腰椎椎間板ヘルニア
ぎっくり腰・坐骨神経痛
圧迫骨折・しびれ
- 肩・腕・手の痛み**
頸椎椎間板ヘルニア
頸椎症・肩こり・寝違え
四十肩・五十肩
しびれ
- その他の痛み**
帯状疱疹の痛み
頭痛・三叉神経痛
肋間神経痛・背部の痛み
原因不明の痛み



医学博士 鷺見 和行
岐阜大学医学部 非常勤講師
ペインクリニック学会 専門医

【経歴】岐阜大学医学部卒業後、岐阜大学医学部附属病院にてペインクリニックに従事。平成22年4月より、岐阜大学医学部 麻酔科疼痛治療科非常勤講師に就任。

すみ痛みのクリニック

保険診療

ペインクリニック内科

予約優先

☎058-212-0666

岐阜市長住町2丁目3番地 岐阜ビル5階 ※名鉄岐阜駅北側(ロフト向かい「三井住友信託銀行」5階の上です)

すみ痛みのクリニック

検索

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:00~12:00	●	●	●	●	●	●	／
13:30~17:00	／	／	／	／	／	／	／

休日診：日曜・月曜・祝日

朝 8:00より診療 土曜も終日診療

